

本プログラムは、物理科学研究科と高エネルギー加速器科学研究科が合同で行う双方にまたがる教育プログラムで、物理科学の学問分野において高度の専門的資質とともに幅広い視野と国際的通用性を備えた、社会のニーズに応えることのできる研究者の育成を目指した教育を行っています。

本プログラムは、本学の物理科学教育の課程をさらに実質化し、研究者として必要とされる総合力、専門力、企画力、開発力、国際性などを身に付けた広い視野を備えた物理科学研究者を育成することを目的とします。

希望する学生は適性に応じて4つのコース：「先端研究指向コース」、「プロジェクト研究指向コース（物理科学研究科のみ）」、「開発研究指向コース（物理科学研究科のみ）」、「基本コース」を選択し、各コースの目的に沿った教育を実施します。

I 5年一貫制博士課程1年次から2年次における大学院基礎教育の充実

5年一貫制博士課程1年次から2年次においては、フレッシュマンコースなど「総合教育科目」や、各専攻の専門分野に関連した基礎物理学の講義等（「共通専門基礎科目」）及び、一ヶ月程度の期間に実践的な研究現場を体験する「物理科学特別研究」（ラボ・ローテーション）を通じて基礎的な知識・素養を修得します。これら基礎教育を通じて物理学に関する幅広い視野と高い専門性を身に付けることと併せ、5年一貫制博士課程3年次から5年次に、学生の希望に応じて選択するコース別教育を選択することができます。

II コースの選択

5年一貫制の学生は3年次の4月以降、3年次編入の学生は4年次の4月以降に、以下に示す4つのコースのいずれかの選択を希望する場合、コース選択の申請と併せて選択したコースに対応する授業科目について履修届を提出してください。

5年一貫制の学生がコースを3年以上在籍、3年次編入学生がコースを2年以上在籍した場合もコース選択は継続します。ただし、途中でコースを変更することが可能であるように柔軟に対応します。

○コース新規申請

2019年度に新規にコース選択を希望する学生は、「（様式1）コース選択届出書」を、運営委員会に届出ください。

また、コース申請と併せ、各コースのコース修了に必要な科目について「履修届」を専攻事務へ提出してください。

※平成30年度4月以降の入学者から「基本コース」の選択及びコース修了は廃止となります。
但し、当該コース科目を履修（単位修得）することは可能です。

○コース継続申請

平成29年度迄にコース選択が承認された学生

従前の研究補助予算から予算措置されたことのある学生が対象となります。

※2019年度にコースを継続する場合は、下記の期日までに「(様式10) 研究指導概要計画書」の提出が必要となります。

[提出期日] 2019年4月30日(火) 学務課学務支援係必着

平成30年度にコース選択の届出を行った学生

コース選択は自動継続となります。

I 先端研究指向コース

先端研究指向コースでは、博士課程研究課題の関連分野において世界に通用する突出した研究者輩出を目指す。

[必修科目]

別紙「特別教育プログラム 科目リスト・カリキュラム」参照

[コース修了の基準]

各専攻の標準的な学位認定の基準とは別に、国際学術論文発表1件（投稿中も可とする）及び国際学会発表1件を行うことを修了の基準とする。また国外の第一線の先端的研究者主宰の研究室におけるインターンシップ（3～12ヶ月）に参加し、その経緯と成果を記した報告書作成を要件とする。

修了認定にあたっては、運営委員会において、コースの目的に沿ったインターンシップの成果について審査を行う。

インターンシップの滞在期間は、原則3ヶ月（90日）以上の国外研究室における滞在を求める（経費は本プログラム以外を用いたものを含めても良い）。

諸事情により3ヶ月（90日）以上を確保できない場合も可能な範囲で柔軟に対応するが、その場合、十分な研修成果を上げたことについて、「(様式4-3) インターンシップ証明書」の提出に基づき主任指導教員の説明を求めるものとする。

なお、1.5ヶ月（45日）未満の滞在日数では、理由の如何を問わず単位認定及びコース修了は認められない。

[特記事項]

本プログラムから予算を措置しない。

インターンシップに必要な費用は、別途学内公募を行う「SOKENDAI研究派遣プログラム」（【区分2】海外長期）への応募、又は助成金や専攻の了承を得た上で所属専攻が有する予算から必要な経費を支出すること。

II プロジェクト研究指向コース（物理科学研究科のみ）

プロジェクト研究指向コースでは、研究の内容やスケジュールを、指導教員あるいは研究グループのリーダーから与えられるという受け身の研究態度ではなく、自分から研究の企画を提案できる能力を身に付けることを目指す。

[必修科目]

別紙「特別教育プログラム 科目リスト・カリキュラム」参照

[コース修了の基準]

プロジェクトの企画・開発・運用や国の科学技術戦略などを学び、学生自らがプロジェクト研究を企画し、完成させる。大型研究プロジェクトの中で、規模の大小は問わずに1件以上の研究企画提案を作成することを修了要件とする。研究テーマは学生独自の企画・提案が可能になる規模とし、指導教員の推進しているプロジェクト内の課題から選ぶ。また研究環境が許せば、その研究企画を実行して、その成果を国際会議で発表することを目標とする。国際会議や学術論文発表は各専攻の標準的な学位認定の基準に従う。

[特記事項]

本プログラムから予算を措置しない。

プロジェクトの企画・提案・完成に必要な費用は、助成金や専攻の了承を得た上で所属専攻が有する予算から必要な経費を支出すること。

III 開発研究指向コース（物理科学研究科のみ）

開発研究指向コースでは、基盤機関におけるユニークな最先端の開発研究を通じて、実用性の高い技術開発においてリーダーシップを発揮し得る研究者の育成を目指す。

[必修科目]

別紙「特別教育プログラム 科目リスト・カリキュラム」参照

[コース修了の基準]

企業で働く博士学位を持つ研究者を含めた共同研究により、学理的な観点の考察とともに実用的な観点の考察を加えた博士論文を完成させる。博士課程研究課題に関連する技術分野において、特許提案書を2件提案することを、付加的な義務として課す。国際会議や学術論文発表は各専攻の標準的な学位認定の基準に従う。

[特記事項]

本プログラムから予算を措置しない。

企業へのインターンシップに必要な旅費・宿泊費用（物件費を除く）は、別途学内公募を行う「SOKENDAI研究派遣プログラム」（区分3国内長期）への応募、又は助成金や専攻の了承を得た上で所属専攻が有する予算から必要な経費を支出すること。

IV 基本コース

基本コースでは、高度な研究能力と幅広い視野をもち、社会に貢献できる研究者の育成を目指している。民間企業、公的機関、大学・研究所等を問わず、修了後進路先において幅広い要請に対応できる総合力を持った人材を輩出することを目指す。

[必修科目]

「特別教育プログラム 科目リスト・カリキュラム」参照

[コース修了の基準]

学術論文発表等については各専攻の標準的な学位認定の基準に従う

[特記事項]

本プログラムから予算を措置しない。

III 単位認定

先端研究指向コース、プロジェクト研究指向コース及び開発研究指向コースは、コース修了要件となる各コース科目を履修し、単位認定の申請をする必要があります。単位認定の申請は随時可能ですが、コース修了認定時期の前（7月あるいは1月迄）に必ず申請をしてください。

○先端研究指向コース

[必修科目]

「先端物理科学考（4単位）」及び「先端物理科学演習（4単位）」

[提出書類]

「(様式 4-1) 旅行実施報告書」及びインターンシップ実施合計日数が90日を満たない場合は主任指導教員による「インターンシップ説明書」

インターンシップを終え単位認定を希望する場合、実施報告書を提出する際に、「1. 所定のインターンシップを終えたので、単位認定を申請します。」を選択してください。所定のインターンシップ実施日数を満たしている際には、主任指導教員が報告、専攻で単位認定を行いません。所定のインターンシップ実施日数を満たしていない場合は、運営委員会が主任指導教員から実施内容が単位を付与するに十分な成果であることを「インターンシップ説明書」に基づき確認します。また「様式 4-1 旅行実施報告書」を元に履修者の全ての旅行実施報告書を確認の上、単位認定要件を満たすかどうか審査の上、単位認定を行いません。

○プロジェクト研究指向コース

[必修科目]

「大規模プロジェクト特論（2単位）」及び「プロジェクト演習（4単位）」

[提出書類]

「プロジェクト企画書」又は「報告書」

[座学の講義科目]

通常の科目と同様に科目担当教員が成績報告及び単位認定を行いません。

[座学の講義科目以外]

主任指導教員の確認を経て提出される「プロジェクト企画書」又は「報告書」を運営委員会で確認し、単位認定を行いません。

○開発研究指向コース

[必修科目]

「研究開発考究（2単位）」及び「研究開発演習（4単位）」

[提出書類]

特許提案書等の写し及び所属専攻が特許出願を受理したことの確認がとれる特許明細書。
特許出願を行った際には受領書及び公開特許公報等当該特許提案に関連する書類。

[座学の講義科目]

通常の科目と同様に科目担当教員が成績報告及び単位認定を行ないます。

[座学の講義科目以外]

主任指導教員の確認を経て提出される、学生の所属専攻が定める特許提案書等の写し及び所属専攻が特許出願を受理したことの確認可能な特許明細書を運営委員会へ提出します。
特許出願を行った際には受領書及び公開特許公報等当該特許提案に関連する書類を併せて運営委員会で確認し、単位認定を行ないます。

IV コース修了認定

1. コース修了を希望する学生は、学位論文審査時期の前に、指定する提出期日（3月・9月）までに「（様式8-1）コース修了報告書」を各専攻事務へ提出してください。
先端研究指向コース、プロジェクト研究指向コース、開発研究指向コースの学生は「（様式8-2～8-4）修了報告書」及び各コースが修了要件として定める添付資料を提出してください。
2. 3月又は9月に開催する運営委員会において、コース修了認定を審議し決定します。
3. コース修了が認定された学生に修了証を交付します。

本件に関する問い合わせ先

総合研究大学院大学 学務課学務支援係

E-mail: gshien@ml.soken.ac.jp

Tel: 046-858-1583、1531